

子育て家庭の経済的負担軽減

小児医療費助成が拡充へ

横浜市会議員 仁田まさとし

横浜市会定例会が9月 3日から10月14日まで行 われました。この中で小 児医療費助成制度の所得 制限を一部緩和する条例 改正に関する議案を審議 し、可決されました。

小児医療費の助成は、 公明党市会議員団の提案 によって、1995年に 0歳児の通院・入院に係 る医療費の無料化が実現 した。同時に対象世帯の所得 制限緩和も求め続け、97 来年少から、1歳児及 び2歳児の保護者の所得 制限をなくし、新たに対 象となる方(所得が「見 重手当旧基準」以上) は、通院1回の上限額が 500円になります(薬 局と入院は全額助成)。

今回の改正によって、 象となる方(所得が「見 重手当旧基準」以上) は、通院1回の上限額が 500円になります(薬 局と入院は全額助成)。



仁田まさとし プロフィール

- 市民・文化観光・消防委員会
- 健康づくり・スポーツ推進特別委員会

◇ 施政方針は「動く、創る、変える。」
ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>
ライン 情報発信中

子どもを助成対象とす べきと主張してきました の撤廃と全額助成へ向け が、今回は1、2歳児の て粘り強く取り組んでい 所得制限撤廃を実現でき きます。

修学旅行キャンセル料を負担

定例会ではコロナ対策 出作りという観点から、 第3次補正予算案も審 議され、可決・成立しま した。それにより、市立 小・中・高校の修学旅行 を実施する場合の看護師 の同行費用や中止にした 場合のキャンセル料の公 費負担が決まりました。

今回の補正予算によ り、感染拡大防止措置を 講じた上で安全に実施で きるよう、さらに学校を 支援します。ご家庭の判 断で修学旅行の参加を見 送った場合のキャンセル 料も公費負担となり、負 担軽減につながります。

所得制限撤廃目指す 市議団は、1歳以上の 子どもに設けられている 所得制限を撤廃し、全て

の経済的負担の軽減を求 めていきます。